戦争と青春（1991）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W/C
時間 102分
初公開日 1991/09/14
公開情報 松竹

【解説】
早乙女勝元の同名小説を作者本人が脚色し映画化。今井正監督が「ひめゆりの塔」以来９年ぶりにメガホンを取ったが、これが遺作となった。東京の下町にある花房モーターズ。娘のゆかりは昔の話を聞こうと質問するが、父の勇太はなぜか答えようとしない。ある日、勇太の姉である清原咲子が、道路に飛び出した子供を助けようとして交通事故に遭ってしまう。そのとき咲子は「蛍子、あぶない」と叫んでいた。父はゆかりに昔の話を語り始める。咲子は戦争で蛍子という名の私生児と生き別れ、以来４５年、子供と別れた黒こげの電柱の前に立っていたのだった。

【クレジット】
監督 今井正
製作 大澤豊
岡村光雄
原作 早乙女勝元 「戦争と青春」
脚本 早乙女勝元
撮影 岡崎宏三
美術 春木章
編集 沼崎梅子
音楽 佐藤勝
助監督 池田博穂
出演 工藤夕貴 Youki Kudoh
佐野圭亮
井川比佐志
奈良岡朋子
樹木希林
河原崎長一郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.